

平成 26 年度 年度計画にかかる事業報告書 大項目評価（案）

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A（順調に進んでいる）

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 市民病院としての役割の発揮	3	6		2	4		
2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献	4	6		2	4		
3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持	3	5			5		
4 市民及び患者とともに築くやさしい病院	2	3			3		
5 地域医療連携の推進	2	3			3		
合 計	14	23		4	19		

評価判断理由

救急医療において、中央市民病院では市全域の基幹病院としての救急医療を継続するとともに E C M O^{*1} チームを結成し、高度で専門的な医療の提供を行える体制を整備し治療を行ったこと、西市民病院では毎日 24 時間救急医療の提供を着実に継続したこと、災害・感染症医療において、中央市民病院ではエボラ出血熱等の新興感染症^{*2} 対策を実施するとともに、西市民病院では「神戸市災害対応病院」^{*3} の指定を受けたこと、さらに、高度・専門医療においては、中央市民病院では手術支援ロボット「ダヴィンチ」^{*4}・T A V I（経カテーテル大動脈弁治療）^{*5}等の高度医療機器における治療を本格的に始動し、西市民病院では循環器内科の体制強化や C T 検査体制の充実を図った。

また、両病院とも、チーム医療として、積極的なリハビリテーションに取り組むとともに、医療安全対策及び院内感染対策における研修、コンプライアンス推進体制及び研修をそれぞれ拡充した。

患者満足度調査等から出た意見への対応を行うとともに、医療通訳制度の継続により、患者サービスの向上に努めたこと、医療機関向けアンケートの実施や情報交換を行い、地域医療連携の推進を行ったことなど、市民病院としての役割を果たしており、すべての項目で年度計画を着実に実施している。

その他評価委員からの意見

1 市民病院としての役割の発揮

- ・「断らない救急」を標榜するのであれば、断った理由の把握と、本当に内部で都合がつかなかったのか等、対外的に説明できるよう分析をする必要がある。

2 高度医療及び専門医療の充実並びに医療水準向上への貢献

- ・中央市民病院として、高度医療をどこまでやらなければならないか。地域医療構想の中でも位置づけられることになるが、中央市民病院は超急性期病院として、どの程度までの水準を目指さないといけないのか、将来を見据える必要がある。
- ・リハビリは非常によく取り組んでいる。
- ・医師の活性化のためにも、治験はあった方がよい。

3 安全で質の高い医療を提供する体制の維持

- ・今後、医療安全が重要になってくるので、高い評価を目指して欲しい。
- ・医療安全研修に参加したことによる効果を把握するため、アンケートを実施するなどの検証作業をすると、参加者の意識や姿勢が変わると思う。
- ・法令遵守については、当然のことであり、ガバナンスの問題である。
- ・倫理が厳しく言われているので、コンプライアンスの中でも、倫理の監視をしていく必要がある。
- ・医療安全において、中央市民病院ぐらいの規模で、医師を交えて取り組みを行っていることは評価できる。

4 市民及び患者とともに築くやさしい病院

- ・患者サービスの向上に、よく取り組んでいる。

5 地域医療連携の推進

- ・今後、認知症への対応が必要になってくるので、医師だけでなく、看護師の連携も重要となってくる。
- ・今後の診療報酬改定では、介護へのインセンティブが強まることが予想される。その中で、特に西市民は在宅医療における地域医療連携のロールモデルになることが求められている。

※1 ECMO (Extracorporeal Membrane Oxygenation・体外式膜型人工肺)

患者から体外循環ポンプで脱血し、人工肺で酸素化と二酸化炭素の排出を行い、熱交換器で加温して患者へ返血するシステムのこと。肺機能が低下した人に対して行う救命手段。

※2 新興感染症

かつては知られていなかった、新しく認識された感染症で、国際的に公衆衛生上の問題となる感染症のこと。エイズ、エボラ出血熱などがある。

※3 神戸市災害対応病院

兵庫県が指定する、災害時に被災患者の受入・治療や救護班の派遣等を行う災害拠点病院に準じ、市が設置する救護所への備蓄医薬品や衛生資材等の提供、避難所・福祉避難所への医療提供などの役割を担う災害対応病院として、平成27年1月13日に、市内6病院を指定し、協定を締結した。

※4 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

3次元立体画像(3D画像)や、繊細な鉗子の動きにより従来の手術よりも正確性、安全性、低侵襲性の向上が期待される。平成24年4月より前立腺悪性腫瘍手術において使用した場合のみ保険適用が認められた。

※5 TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation・経カテーテル大動脈弁治療)

心臓弁膜症の患者に対して、胸を開かずカテーテルを使って人工弁を心臓に装着する治療法。高齢で外科的手術が困難な患者等が適応となる。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 優れた専門職の確保と人材育成	3	5		1	4		
2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり	2	2			2		
合 計	5	7		1	6		

評価判断理由

優れた専門職を確保するため、看護職員を確保するための取り組み及び経験者採用等を継続するとともに、優れた人材を育成するため、国際貢献活動や大学・大学院などで履修を行う自己啓発等休業制度を新設するなど、人材確保や育成、研修制度の充実と拡大を引き続き図ったこと、西市民病院では、平成24年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業^{*1}に参画し、ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成^{*2}のための教育支援プログラムを無事に終えたこと、さらに、両病院の共通項目として職員ニーズを把握し、より良い執務環境を提供するため、職員満足度調査を初めて実施し、改善すべき項目について検討を開始したこと、優秀職員表彰や業務発表会などを通じ、職員のモチベーション向上を図ったことなど、働きやすい環境整備に努めており、すべての項目で年度計画を着実に実施している。

その他評価委員からの意見

1 優れた専門職の確保と人材育成

- ・育児世代に対して、良好な育児環境を提供することなどによって、より市民病院機構で働きたいと思ってもらえるような仕組み作りを意識した方がよいのではないか。
- ・人材の育成によく取り組んでいる。
- ・ダナンの研修サポートは成果を指標で示すよりも、国際貢献するということが大事。また、西市民病院から派遣した看護師にも得るものがあったはず。

2 働きやすくやりがいの持てる環境づくり

- ・職員満足度調査は、本当に心から満足と思っているのか、現状で妥協しているのか把握できないので、自由記載欄のコメントを重点的に見ることにより、職員にとってより良くなることが見えればよいと思う。
- ・職員満足度調査は、満足していない25～30%に注目すべき。職員が共通認識として変えないといけないと思っているが、改善できていないところが事故につながることもある。

※1 草の根技術協力事業

国際協力の意志を持つ日本のNGO(非政府組織)、大学、地方自治体及び公益法人等の団体による開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICA(独立行政法人国際協力機構)が政府開発援助の一環として、促進し助長することを目的に実施する事業のこと。

※2 ベトナム・ダナン産婦人科・小児科病院の人材育成

ベトナム中部の中心都市であるダナン市は、出生率が高く、かつ、周辺部から流入人口が多いため、人口増加率が全国平均を上回り、医療分野においては産婦人科・小児科の需要が大きい。ダナン産婦人科・小児科病院では、看護師・助産師の知識・技術の不足や人手不足等により、患者に対する十分な看護体制が整備されていない。そこで、平成24年4月から3年間ダナンの産婦人科・小児科病院の人材育成を実施しており、西市民病院、神戸市立看護大学、関西福祉大学が支援チームを組織し、効果的な事業推進を図るため、看護師等の派遣や研修員の受入れを行った。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A（順調に進んでいる）

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 安定的な経営基盤の維持	3	6		2	4		
2 質の高い経営ができる病院づくり	3	4			4		
合 計	6	10		2	8		

評価判断理由

診療報酬改定や消費税の改正等、病院を取り巻く環境が厳しい中、新たな診療報酬の加算の取得や外来化学療法^{※1}による注射料単価の増額等で収益を確保したこと、また、診療材料の価格交渉や薬価交渉の強化により、合理化を図った結果、平成26年度決算において、経常損益についても黒字を確保し、経常収支等の経営指標においても、両病院共に、ほぼ目標値どおりの実績を得るなど、安定的な経営基盤の維持を図っており、すべての項目で年度計画を着実に実施している

その他評価委員からの意見

<p>1 安定的な経営基盤の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に、職員の給与が上がっていくことを想定しながら体制を考えていかなければならない。人員を増やしても、それに見合うだけの収入を得られていれば問題ないが、その伸びが限界に達しつつある状況ではないか。 ・ベッドコントローラーが適切に管理していることがわかる。 ・経営的には、現在よりも労働生産性を高める必要があり、導入した医療機器についても、稼働率を高め、効率的な運営をしていかないといけないのではないかと感じる。 <p>2 質の高い経営ができる病院づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務比率を見ると、リスクが高まっていると感じる。調子がいい今のうちに将来について検討する必要がある。
--

※1 外来化学療法

がんの治療方法の一つ。外科療法、放射線療法、化学療法の3種類があり、外科療法は手術で、放射線療法は放射線で患部を直接治療するもの。これに対し、化学療法は薬を使う治療法で、注射や内服によってからだの中に薬を入れ、がんが増えるのを抑えたり、がんを破壊したりする治療のこと。近年は、入院せずに外来で化学療法を行うことが増えている。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

評価結果	S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に進んでい る	B おおむね順調に 進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れてい る
------	----------------------	-------------------	-----------------------	--------------	-------------------

※A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイトを考 慮した 項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 中央市民病院におけるPFI事業の円滑な推進	1	1			1		
2 市関連病院との連携	1	2			2		
3 神戸医療産業都市における役割	1	1			1		
合 計	3	4			4		

評価判断理由

中央市民病院について、引き続きPFI業務^{※1}に関するモニタリングを定期的に行い、業務実施状況の確認や改善によって円滑な運営を図っていること、中央市民病院・西市民病院間での連携会議による情報共有を行い、両病院間での患者転送について運用調整を行ったこと、神戸医療産業都市における役割として、引き続き先端医療センターや、中央市民病院周辺の高度専門医療機関等との連携会議を定期的を開催するとともに、設置が計画されている医療機関との連携についても開院前より意見交換及び協議を行うなど、年度計画を着実に実施し、すべての項目で年度計画を着実に実施している。

その他評価委員からの意見

特になし

※1 PFI業務

平成11年に施行された「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)に基づいてなされるもので、民間の資金やノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。